

新型コロナアンソロジー

# 567日目の接触

村上 晴彦

登場人物

五六（ごろう）

ナナ

他いろいろ

※男女数名（最低二人）で、できそうなところだけ拾ってやればそれなりに何とかできるようできてます。

序 合言葉は・・・？

マスクと帽子とサングラスで顔を隠した女、そおっと入ってくる。

五六 （後ろから何かを女の背に向けている）動くな。

ナナ （両手をあげながら）怪しい者なんかじゃありませんて。合言葉は「あー言え  
ばこう言う」

五六 そんなのねーよ。

ナナ 違った。四桁の暗証番号ですよ、確か（ドアをチラと見て）0202！

五六 それ部屋番号だよ。バカかお前、いいから黙ってこっち向けや！

女、ゆっくり振り返る。男、女の帽子を乱暴にとると、いきなり女の額に  
手にしたアイテムを突きつける。ぴっ。

五六 三十六てん二度。合格。入ってよし。

ナナ （サングラスを外しながら）えー、そんだけえ!?

五六 お前、ナナじゃねえか！ 何してんだよこんな時に。

ナナ それはこっちのセリフ！ 拳銃ならまだしも、体温計って何？

五六 今品薄でなあ、通販で取り寄せるの大変だったんだぞ。中国製だぞ。

ナナ そういう問題じゃない！ しがない調査会社は表の顔で、実は凄腕のスナイパーだったり、とか期待したのにー。

五六 世の中そんなかつこよくできちゃいないんだよ。調査するのはね、地味な作業の積み重ねなんだぞ。

ナナ 確かに、この一年とちょっと、そんな血なまぐさい事件に出会ったこと一度もないけどね。でもさー、ほんとにそれだけでいいの？ セキュリティ甘すぎじゃないんじゃない？

五六 うち基本どんな奴でも受け入れる、こういう状況じゃなかったらな！ 今は検温とマスクだけが条件よ。見たかこの完璧な感染症対策。

ナナ 危険なのは感染症だけとは限らないでしょ、そんなの危険極まりないし。仮にだよ、銃を隠し持った殺し屋とか刃物を隠し持った暴漢とかが襲ってきたらどうすんのさ？

五六 だから、ドラマかマンガの見すぎなんだよ。うちに来る調査なんてな、商店街を往来する人の数数えるとか、マスク売ってる店はどこだとか、配達は早いけど不

味いから注文が少ないというわけではない隠れた名店を探せとかそんなんだぞ。襲われるいわれが一ミリもないね。

ナナ でも、ごろうちゃんの身に何かあったら、私……。

五六 タダメシ食うところに困るとか言うんだろ。てか何しに来たんだよお前。しばらくは家で大人しくステイホームしてろって言ったろが。

ナナ いやあ、ごろうちゃんどうしてるかな、って思って……。

五六 とりあえずちまちま細かい依頼だけは後から後から舞いこんでくる状態だな。

ナナ でしょ？ ごろうちゃん一人で調査に出てるのに、助手の私が家でゴロゴロしてるわけにはいかないでしょ。

五六 助手を雇った覚えはねえ。

ナナ 雇われた覚えもありません。

五六 素人に何ができるんだよ？

ナナ そう言うと思ってさ、私は私なりにこの数十日間、独自ルートでの調査を進めてきたわけよ。

五六 調査だあ!? お前、人の話これっぽっちもきいてないだろ。

ナナ 礼なら後でたんまり聞くからね。まあ、ここは一つ、ナナちゃんの報告をじっくりきいてみようじゃないか！

五六 ……。

で、ナナのかけ声とともに二人、静止する。

転

ケースー 在宅の朝に

男、歯ブラシをくわえたままシャツに袖を通し準備を急いでいる。テレビ画面からは女性アナウンサーの声が聞こえている。

女 続いてお天気です。今日の東京は晴れ。絶好のステイホーム日和でしょう。

男 はあ？ 何言ってるんだこいつ。お出かけ日和の間違いじゃないか？

女 ただし、午後は天気の急変に注意。今日は念のため、折り畳みの傘を持って出かけた方が安心でしょう。

男 (カバンに荷物を詰めながら) 書類書類、あと傘も持って行ってかよ……。

女 続いて今日の占いです。今日もっとも運がいいのは、山羊座の私！ 今日は何をやってもうまくいきますし、原稿を早口で呼んでも絶対噛まないでしょう。

男 電波の私物化だよそれ。お前どうでもいいから、次！

女 続いて、二位から六位です。……。

男 入っていないじゃないかよ！ もう出るから早くしてくれってーの。

女 七位から十一位はこちら。

男 ここにもない！ てこたあ最下位かよ……。

女 ごめんなさい。今日最も悪い運勢なのは、水瓶座のあなた。

男 (カギを手に立ち上がる) わかったよもう！

女 「ステイホーム」。今日は外に出てもいいこと何もないから、家から一歩も出ないで！

男 (座り込む) そうだった！ 今日から在宅テレワークだあ！ 慌てることなかったじゃんよ……。

女 いいですね、絶対に出ちゃダメだからね！

男 わかってますよ。

女 ラッキーアイテムは、電車の吊革。一人で心細い時は吊革につかまってしっかり体と心を支えましょう！

男 はあ!? ちょっと待て。お前おかしいだろそれ！ 外出るなって言っときながら吊革ってどういうこった!?

女 では皆さん、良い一日でありますように。HAVE A NICE DAY。

SEE YOU!

男 「シュー」じゃないだろ！

と、リモコンを手にテレビを消そうと男が手にしたものが何故か吊革。または、電車の吊革を持った女がテレビ画面から飛び出してきたもよい。

男 何でこんなもんがここにゐるの……？

転



## ケース2 傘と買い物と

マスク着用の上、透明なビニール傘を持った女1と女2、登場。双方、自分のセリフでは傘を上げ、相手のセリフ中は、傘を相手に向けて防御態勢をとる。

女1 あーら、大葉さん、おはようございます。お出かけですか？

女2 これはこれは岩下さん、あの、あまりこっち寄ってこないように。

女1 (慌てて距離をとる) あら、私としたことが、気が回らなくてごめんなさい。

女1・2 ソーシャルディスタンス！

女2 それで、岩下さんこそどちらへ？

女1 私、スーパーに買い物に行くところですのよ。お昼や夕暮時は混雑しやすいので、朝。

女2 そうよねー、開店前。当然だわ。

女1 開店ギリギリだと行列になってる可能性があるから、私、買い物の時は必ず、一番に並ぶようにしてますのよ。

女2 そ、そうですねー。開店直前に行くなんてありえませんか。

女1 それも、三日に一回しか行かないようにしてますのよ。

女2 そう、三日に一回ですねー。

男、登場。傘は持っていない。

男 あのー……。

女1 ちょっと、傘も持たずに近づかないでくださいますか？

女2 ソーシャルルディスタンスです。

男 あ、これは失礼。でもそのおー、雨なんて降ってませんけど、お二人は何故傘な  
んかを？

女1・2 飛沫防止です！

男 は、はあ……。

女1 それはそうと大葉さん、確か昨日もこの自分にそそくさと出て行かれませんか  
でした？

女2 そ、そうだったかしら……？

女1 そうよ。だって私、洗濯物を干していたらベランダから大場さんが歩いていくのを見ましてよ。

女2 (小声で) 見てんじゃねーよ！

男 今、なんか言いました？

女2 それはほら、うちは結構食材を大量に消費するもので、三日にいったんじゃ追いつかないこともあるっていうか……。

女1 あら、でも大葉さん、お一人ですよ？

女2 だから、全部私が食べるの！ 巣ごもりでヒマだから、一日八食はとるの。食べ盛りなの！

女1 まあ、そうでしたの。それでその体型だなんてうらやましい限りですわ。私なんて、ちょっと余計に食べただけですぐ太っちゃって……。

女2 というわけですから、そこらへんは三日に一回などと言わず、少し大目に見ていただいて。

女1 まあ、ここで会ったのも何かの縁ですし、せっかくですからご一緒しませんこと？

女2 あ、ほら私が行くのは遠くの店だから、ちょっと材料にはこだわりのあって……

∴。

女Ⅰ あら、そうなの。じゃ、ご機嫌よう。(男に)そうそう、私、予備を持っており  
ますから、これ、一本差し上げますわ(と傘を男に渡す)用心に用心を重ねるにこ  
したことはありませんから。失礼。

女Ⅰ、さした傘をくるくる回しながら去る。

女Ⅱ 全く、しつこいんだから！ 在宅でお給料も減っちゃったからレジ打ちのバイ  
ト始めたなんて、言えるわけないじゃないの。やべ遅れる！(慌てて走り去る)  
男 (傘を広げて)そういうことか！。

転

ケース3 最新テクノロジー

どっか事務所っぽい所で、女が電話の応対に追われている。

女 (受話器を手に) はい、ヤマダさまのおっしゃることはよくわかります。しかしです  
すね、こちらにも順番というものがございまして、状況を精査してまた折り返しご  
連絡いたしますので、今日のところはご自宅にて様子を見ていただくようお願い  
いたします。それでは……(がちゃ)。

受話器を置くとほっと一息つく女。とそこへチャイムの音が。慌てて受話  
器を取ろうとして。

女 そっちかよ！ てかいきなり窓口に来るとか反則だから。

そこへ、なんか怪しいロボのようなものを抱いて、男が入ってくる。

男 お邪魔します。

女 今とっても忙しいんで、いきなり訪ねてこられてもすごい迷惑なんですけど。何です。検査ですか？

男 いえいえ、そちら様の事情は理解しているつもりですよ。お困りだろうとね。そこをなんとか当社の技術を持ってお力添えが出来ればと思ったわけでした。

女 だから、勝手に入って来ないでって。ソーシャルディスタンスは!?

謎のロボ (もしくは、男が腹話術っぽく喋る) こんにちは。

女 な、何ですか、これ……？

男 ですから、こういういった窓口やら電話での相談業務のご多忙を一気に解消すべく開発した当社の新製品でございます。

ロボ こんにちは。今、あなたの体温は三十六度三度。心拍数は八十ですね。

女 え……？

男 ね、ちょっとびっくりされてるでしょ？心拍数が少し高い。この子はね、この、ここんところに複数の高感度センサーを内蔵しております、非接触にて一瞬のうちには体温、脈搏などの数値を計測することを可能にしておりますよ。この子がいれば、もう安心してございますよ。

女 すごいことは認めるけど、でもねー、体温とかが測れるって言って、それだけじゃ

ね……。今問題なのは、そこから検査に至るプロセスなの。他にもっとできることってないんですか？

男 ございますとも。この子は人間の目に当たるセンサーの他に、人間の手に当たる超精密なマニピュレータを阿修羅並の最大六本まで装備可能でございます。

女 それで？

男 こちらは高性能のチップにより自動制御されておりまして、卵を割る、じゃがいもの皮をむく、などの日常的な作業はもちろん、点滴から検体の採取などなど、神経を使う作業も、人間よりも素早く、正確にこなすことを可能としております。

女 じゃそれがあれば、今よりもっとバンバン検査がこなせるってこと？

男 ま、その気になればできないこともないと……。

女 すごいじゃない！ 他にもっと何かできることあるんですか？

男 そんなものは序の口、この子の真骨頂は、最新のAIを駆使した言語表現の豊富さでございます。いかなる状況下でも、瞬時に相手の言い分を察知して、適切な言葉で通話をもとの数秒で打ち切ることが可能なんです。試しにちよっと何か相談してみても頂けませんか？

女 (ロボにおかっつて) あの、実は昨日から微熱が続いてまして、不安なので検査を希望したいと……。

ロボ (素早く受話器をつかむ。これは男が手を添えてもよし) おとといきやがれ!  
(がちゃん)

男 どうです? これを最大で同時に三回線まで自動で対処することが可能でございます。

女 お前らが「おとといきやがれ」!

転



ケース4 路上販売・・・？

ウクレレを抱え、段ボールの箱を持った女、登場し、メジャーで距離を測ると舞台上に半円を描く。同じく段ボールで作った自立式の看板には「聞いてください」と書いてある。

女 えっと、大声を出すことも、人と人が接触することもはばかられるこんな寂しい世の中ですけど、必死に耐えている皆さんにエールを贈りたくて、だから、距離をとっていただいて、なおかつ小声で歌います。どうか私の歌を聞いてください。

で、女が歌っている間、適当に人が通るのだが、皆足早に通り過ぎていく。

女 (ウクレレを弾きながらほぼロパクに近い声量で歌う)

♪ 目には見えないけど 大切なものがある  
目には見えなくても 危険なものがある

男（女でもいいよ）が一人通りかかる。

男 聞こえねーし。（そのまま去る）

女 すみません、少しポリリュームあげます。

（歌う）

♪ 目には見えないけど 大切なものがある

目には見えなくても 危険なものがある

人影もまばらな駅前 電車は空で走ってる

電線に群がるムクドリは 今日も密なのに

また別の男（女でもいいけど）が通りかかる。

また別の男 このステイホームなご時世に路上で歌うなんて、バカなんじゃないの？

（と言い捨ててまたスタスタと去る）

女 （さらにポリリュームをあげて歌う）

♪ ムクドリのように飛びたい 自由に空を飛びたい

ムクドリのように鳴きたい　たくさん声を出したい  
密になって　あなたと触れ合いたい

結局、誰も聞いていないので、女、歌いあげるとウクレレを置いて立ち上がる。「聞いてください」と書いてあった例の看板を裏返すと、そこには「(国産)マスクあります」と書いてある。

その途端に、四方から人が群がってきて(まあいるだけ出ればいい)、口々に「ください!」「いくらなの?」などと叫ぶ。

女　何なのよもう!　ちゃんとソーシャルディスタンス守りなさいよね!

転

ケース5 自肅警察ポリルステイ4！

マスク姿の男、スタスタ歩いてくる。そこへ、トレーニングウェアの女、走ってくる。マスクは一応は耳にかけているものの、ずれている。慌ててよける男。

男 おい、貴様、マスクは？

女 あらごめんなさい。着けてたんだけど、走ってたら暑いし息苦しいし、つい……。  
男 だったらムリに走ることはないだろう？

女 いいでしょ。適度な運動は必要なの。ずっと家の中にいたら、体なまっちゃうし、食べる一方で太る。

男 それはきちんとマスクを着用して、人と人との距離をとっての上での話だろ。

女 外での運動は密にならないし、マラソンは体にいいから走ってもいいってことになってるの！ 人に文句つけるなら、ああやって集まってる奴等に注意するのが先なんじゃないの？

女の指さす先には、パチンコ屋の前で列を作る人々が多数いたのであった。

男　：あいつら、休業要請を何だと思って……！

女　ということなんて、ペース落ちるから行くわよ！（走り出す）

男　今がどういう時がわかっているのか？どいつもこいつも自分の都合で勝手なことばかりしおって！

許さん！（ポーズ）GO！ステイホーム！

男、かけ声と共にカバンからでっかいポリ袋を取り出してスツポリかぶる。

男　着装完了！　自肅警察・ポリルステイフォー！

女2　（マイクなど持って突然登場）解説しよう。普通の会社員・小野<sup>お</sup>津祝<sup>づ</sup>は、その正義感が過剰に暴走する時、自肅警察・ポリルステイ4に変身するのだ。でも何でフォーなのか、それは本人の口から語られるであろう！

男 密接、密集、密閉、三つの密を元から断つ！　それが自肅警察。

女2 だから、あと一つは？　ちなみに私のおすすめは蜂蜜ね。

男 四ひく三は一。あと一つは、秘密だ！

女2 なんの答えにもなっていません！

男 歪んだ欲望に正義の鉄槌を。まずは、あのランナーの背中とパチンコ屋の前に正義の張り紙だ！

男、カバンから紙と油性ペン（極太字）を取り出して「ステイホーム」と  
でっかく書きなぐる。

男 この張り紙を、誰がやったかバレないように、そおっと貼る！　そして……！！

女2 ヒーローは一般人に正体を明かさない。さすがに卑劣です！

男 地味に他県ナンバーの車にキズをつける、ポリステイ・クロー！（筆箱からコンパスを取り出す）これで奴等に目にももの見せてやるぜ！

と、パチンコ屋の前に停まる車列にそっと近づく男。

女 ちよつと、何やってんのよあんだ？

男 いや、これは……。

女 言う事はごもつともでも、やることはだいぶ汚いんじゃないの？ やるなら堂々とやりなさいよ！

男 それはつまり、自肅を守らないお前らが圧倒的に悪い！ 今日には忠告だ。次また同じような過ちを犯すなら、ポリルステイ4は断じて許さないぞ！ また会わないことを祈る。さらばだ！（走り去る）

転

ケース6 緊急記念講演

とりあえず数人座っている。そこへ、マイクを持った女、登場。

女1 大変長らくお待たせいたしました。これより、緊急記念講演会「今、自肅社会を生き抜くために」を始めたいと思います。講師の先生をお呼びいたしました。よう。どうぞ皆さん盛大な拍手で……。

女2 そんなはしゃいだら駄目だよ。

女1 し、失礼いたしました。こういうご時世ですし、先生は、大きな音が苦手ということもありまして、厳かに、無言でお迎えいたしましょう。どうぞ。

男、登場。

男 (終始ぼそぼそと喋る) どうも、小森ひきおです……。

その他 おー。(あと、男が何か言う度に「おー」とか感嘆の言葉を適宜発すること)

女1 小森先生は、社会全体がこうなる十何年も前から、家から一歩も出たことがない、ということですが？



男 あ、まあ……。

その他 (口々に)「おー」「すげー」「初めて見た」などなど。

男 今日は、ヒマなのでつい外出したくなってしまっただけに、有益な意見を頂けたらと思います。

女2 はい、しつもん！

女1 そうですね。先生は、自ら言葉を発するのが不得手なので、早速みんなから質問を、どうぞ。

女2 家から一步も出たことがないって、本当ですか？

男 いや、数年前に一度、郵便を取りにポストまで出たことがあったような……。

女3 食事はどうしてるんですか？ 自炊ですか？ それとも、デリバリーですか？

男 冷蔵庫あさると何かしら入ってるし、まあ、一日二日は食べなくてもイケるっていうか……。

女2 すごーい、食べなくてもいいんだ……。

男 あとボク、魔法が使えるっていうか、「お寿司」とか紙に書いて廊下に張っとくと、数時間後にはそれが具現化して部屋の前に出現したりするんですよ……。

女1 やっぱり、動かずに代謝を減らすことが耐え抜く秘訣ですかね？

女2 ジョギングとかサッカーとか、運動したくなったりしないんですか。

男 だって、疲れるじゃないですか。

女3 友達とおしゃべりしなくなったら？ メールするんですか？

男 えー、友達は、特に、いません……。

女2 お風呂はどうするんですか？

男 まあ、ウエットティッシュでたまに身体拭いたりするかな……。

女2 じゃ、普段はどんなことしてるんですか？ 家でゲームとか？

男 いや、ゲームは指疲れるし、ま、大体は寝転がってるかな……。

女3 先生にとって、将来の夢って何かありますか？

女2 社会のために、あるいは家族のために何かしたいこととかないんですか？

男 いや、このまんま何となく生きてればいいかなって……。

女2 ほんとうにそれでいいんですか？

男 うーん、別に困らないからいいかな。ま、親に何かあったら、そんな時は働くかもし

れないし……。

男、女一に何やら耳打ちすると、そそくさと走り去る。

女一 先生は、極度の緊張により限界だということ、これで講演は終了となりま  
す。この貴重な経験談を糧として、皆さんも穏やかな自宅生活を送っていきましょ  
う！（ぱちぱちぱちぱち）

転

ケース7 お掃除しましよ

女、歌など歌いながらフロアワイパーで床を拭いている。

女 (歌う)

♪お掃除しましよ 真心こめて

磨けば 心も磨かれる

そこへ、男、登場。

男 何やってんだか、自肅警察とかやってる場合じゃないってのに、結局会社まで来

ちまったい……。あれ……？

女 あら？

男 何やってんすか……？

女 そちらこそ、どうしたんですか？ 皆さん在宅テレワークで出勤してこないは

ずですよ。

男 そうなんだけど、ずっと家にいてもはかどらないって言うか、リモートはなんか

まどろっこしい気がして。

女 だから、来てしまったと？

男 ええ、まあ。

女 いけませんね、すていほーむですのに。

男 それを言ったら、あんただって。

女 私はね、ご近所さんだから、職住接近。近所に買い物に出る感覚ですぐ来れちゃうの。

男 俺は、いつものように電車で揺られてきた。いつもと違ってガラガラの電車に。でも、そうですね、来たところで、誰もいないんだ。

女 ここはいつも賑やかでしたからね。書類の束抱えて廊下を走る人、部下を叱責する上司の声、給湯室で他愛ない話に興じる若いOL。私はよく「邪魔だ！」て怒鳴られたもんです。

男 そんなことがあったかも知れませんが。決算期とか仕事に追われてみんな殺気立つし、「掃除なら社員がいない時にやれよ」とか思ってた。

女 ところがね、早出だの残業だので案外誰もいない時ってのがなかなかないのよ。

男 日本人は働き過ぎってことですか。でも、こうなってしまうと何だか寂しい気は

しますね。それなのに、あなたは どうして？　だって、給料だってまともに支払われないんじゃない？……？

女　わからない？　人が来なくても、目に見えないホコリはちよつとずつたまるものなんですよ。

男　そういうもんなんですか。

女　そういうものですよ。どうせ家にいたってヒマなだけだし、だから、また皆さんが戻ってきた時、まずは事務所の掃除からだ！　なんてことにならず、気持ち良く仕事に入れたらいい、ただ。それだけですよ。なーんて、かっこつけすぎでしょうかね。一度たまった汚れは、落とすのに骨が折れる。ほんとはね、ただ、自分が楽しみたいだけなんですよ。

男　（上着を脱ぐ）あの、今日だけ、ほんと今日だけで申しわけないんですが、俺にも手伝わせてください。

女　そうですね。でも、距離だけは保ってくださいね。そうしたら、（指さす）あなたはそっちの方を。

男　了解しました！

男、女からフロアワイパーを受け取り、床を拭き始める。

女・男 （歌う）

♪ お掃除しましよ 真心こめて

磨けば心も磨かれる

転

結 567の先にあるもの

再び五六とナナ。

ナナ どうよ、私の調査は？ 使えそうなネタのオンパレードだったでしょ？

五六 しかしこれが売り物になるかつーと、一般人向きじゃないような気がするんだよなあ……。

ナナ マニアックが過ぎるのははごろうちゃんの助手だからってことで。

五六 俺が変わり者みたいない言い方すんな。ま、努力だけは買おう。ほらよ。(ビニール袋を投げる)

ナナ (中身を見て) ありがと。

五六 ただのコンビニおにぎりだぞ。

ナナ 結局さ、みんな人と触れ合うことを求めているんだよねー。

五六 お前の言いたいことはわからなくてもない。てか今思ったんだけど、お前がわざわざここまで来んでも、報告だけならリモートで全然良かったんじゃない？

ナナ ごろうちゃんちともわかってない！ 今日ね、ナナがごろうちゃんと出会っ



てからちょうど一年と2022日目の記念日なんだよ！

五六 何だよその中途半端な記念は・ そんなんわかれつつう方が無理だわ。

ナナ あの日ここで2022て表示を見てドアを叩いたから今の私がある。だから、大切な記念日なの。なのにずっと在宅だ自粛だって、いつまで続くのかな、こーゆる生活？

五六 さあな……。

ナナ てかさ、このおにぎり何なの？ 味うすーい。てか、全然味しなーい！

五六 え、それ、激辛にぎりはずなんですけど……。

二人、凍り付く。そのまま。他の出演者たちが、ゆっくりと現れる。

男 五六と七ごろうで5こな6こな7。

女 202たす365でも5こな6こな7。

五六 えっと、こんな時はどうすんだ？ ーー9番！ いや、救急車はダメだ！ あ

れだ、帰国者接触者発熱外来とか何とか……番号しらねーよ！

男 ナナの身に何が起こったのか？

女 五六は、ナナを救うことができるのだろうか。

男 この続きは、待て次回！

女 私たちは今も、出口の見えない迷宮の中にいる。

男 再び大声と飛沫の飛び交う密な世界に帰ることができのだろうか。

女 その日が再び訪れることを、私たちは切に願っている。

五六 待たねえよ！ てか、次回なんてないから。

ナナ もっと一緒にいたいけど、この芝居は、ここでおしまいなの。この続きは、みんなのこれからの行動で作っていくの。

一同 本日は、どうもありがとうございました！

出演者一同、そろって礼（ただしヨコの間隔はいつもよか空ける）。

で、溶暗。

幕

※作者註…ラストのセリフは、本番時の感染状況などにより、変更になることがあります。